自立語と付属語

単語は、大きく、自立語と付属語に分けられる。

●**自立語**…単独で文節を作ることができる単語。
　その単語だけで言葉のイメージが浮かぶことが多い。

●**付属語**…単独では文節を作ることができず、自立語と共に使われる単語。
　その単語だけでは言葉のイメージが浮かばないことが多い。

（例）［鳥］が［空］を［飛ぶ］。［おにぎり］を［食べ］た。
（自・付・自・付・自／自・付・自・付）

単語を分類したものを品詞といい、自立語は８つ、付属語は２つの品詞に分けられる。

- 単語
  - **自立語**
    - 活用する ― 述語になる（用言）
      - 動作・作用・存在を表す・終止形が「ウ段」で終わる → **動詞**
      - 状態・性質を表す
        - 終止形が「い」で終わる → **形容詞**
        - 終止形が「だ・です」で終わる → **形容動詞**
    - 活用しない
      - 主語になる（体言） ― 物事の名前を表す・物事を指し示す → **名詞**
      - 修飾語になる
        - 主に用言を修飾する → **副詞**
        - 常に体言を修飾する → **連体詞**
      - 接続語になる → **接続詞**
      - 独立語になる → **感動詞**
  - **付属語**
    - 活用する → **助動詞**
    - 活用しない → **助詞**

主な品詞

自立語

・**動詞**…動作・作用・存在を表す。言い切りが「ウ段」で終わる。
　（例）話す・咲く・いる

・**形容詞**…状態・性質を表す。言い切りが「い」で終わる。
　（例）明るい・楽しい・赤い

・**形容動詞**…状態・性質を表す。言い切りが「だ・です」で終わる。
　（例）静かだ・きれいだ・立派だ
　　　静かです・きれいです・立派です

・**名詞**…物事の名前を表す。物事を指し示す。活用しない。
　（例）山・学校・私

付属語

・**助詞**…自立語の後に付いて、語句と語句の関係を示したり、意味を付け加えたりする。活用しない。
　（例）鳥が飛ぶ。　私も笑う。　強くて優しい。　何ですか。

・**助動詞**…用言・体言や他の助動詞などの後に付いて、意味を付け加えたり、話し手の判断を示したりする。活用する。
　（例）走らない。　走った。　中学生だ。

活用

動詞・形容詞・形容動詞・助動詞は、文中で言葉の組み合わせに応じて単語の形が変化する。これを**活用**という。
（例）話す＋た → 話した　　話さない＋た → 話さなかった

確認テスト

(1) 次の品詞が、自立語なら**ア**、付属語なら**イ**で答えなさい。

① 動詞 〔　　〕　② 助動詞 〔　　〕
③ 形容詞 〔　　〕　④ 形容動詞 〔　　〕
⑤ 助詞 〔　　〕　⑥ 名詞 〔　　〕

(2) 次の単語の品詞の種類をそれぞれ**ア**～**エ**から選びなさい。

① 高い 〔　　〕　② 歩く 〔　　〕
③ 変だ 〔　　〕　④ りんご 〔　　〕

ア 動詞　**イ** 形容詞　**ウ** 形容動詞　**エ** 名詞

(3) 次の単語の品詞の種類をそれぞれ**ア**～**エ**から選びなさい。

① 富士山 〔　　〕　② 見る 〔　　〕
③ 簡単だ 〔　　〕　④ 難しい 〔　　〕

ア 動詞　**イ** 形容詞　**ウ** 形容動詞　**エ** 名詞

(4) 次の――線部の単語を言い切りの形に直しなさい。

遊んだ 〔　　〕

(5) 次の文に含(ふく)まれる自立語の数を算用数字で答えなさい。

友達と公園に行くと、黒いネコがいた。 〔　　〕

(6) 次の文に含まれる付属語の数を算用数字で答えなさい。

街に激しい雨が降った。 〔　　〕